

英語本文は[こちら](#)

道路崩落はLNG発電所が招くものの氷山の一角と環境団体が主張

プレスリリース | 2022年12月3日

ヴェルデ島海峡 (Verde Island Passage: VIP) を保護するために結成された広域連合 Protect VIP は、12月3日 (土)、バタンガスータバングアオーイリハンーロボを結ぶ道路が11月27日 (日)、バタンガス州イリハンでのアトランティック・ガルフ&パシフィック (AG&P) 社による液化天然ガス (LNG) 輸入ターミナル統合事業の建設が原因で崩落したことについて、それがLNG事業が環境にもたらしうるものの一例であると同時に、自身が招いた損害への対応に関して事業推進派が透明性を欠いている、と指摘した。

GMAの地方テレビ局の番組「Balitang Southern Tagalog (南タガログ地方ニュース)」は、11月29日 (火) に道路の崩落について報道し、建設現場内から撮影されたと思われる動画で、道路の下から海水が吹き出している様子を放映した。この報道では会社名は明らかにされていないが、上述の会社の掘削作業により道路の土台が失われたことが事故の原因であるとする公共事業道路省バタンガス第2地区エンジニアリング事務所の話を紹介している。

「事業者が適切な建設プロトコルを実施すると確信できないなら、ターミナルの稼働後に同社が安全や環境プロトコルを無視しないと、どうやって信頼できるでしょうか。私たちは以前から、多くのLNGタンカーがヴェルデ島海峡に入ることは安全面や環境面でリスクがあると言ってきました。今回の事故はまさに、ターミナル自体さえもがこの地域の人々の生計手段や環境にとって大きなリスクであることを証明するものです。悪影響を確認するために、ターミナルのフル稼働やタンカーの往来開始を待つ必要はありません。」と、Protect VIPの呼びかけ人であるEdwin Gariguez神父は述べた。

建設中のターミナルは、サンミゲル社 (San Miguel Corporation: SMC) のイリハン発電所にLNGを供給する計画である。Protect VIPは、ターミナルと発電所の両方が、拙速な土地転換のため、8月に農地改革省 (Department of Agrarian Reform: DAR) から停止命令 (cease and desist order: CDO) を受けていることを指摘した。

「彼らが工事作業を続けているために道路が崩落したのだとしたら、これは直接的な停止命令違反です。DARは同社にコンプライアンスを遵守させ、罰則を科すべきです。彼らは道路を破壊するほど杜撰な工事を続けたのです。彼らは地域社会の意思、住民の福祉、環境の保全だけでなく、今や、私たちの法の執行をも軽視しています。」とGariguez氏は述べた。

また、Gariguez氏は、この事故に関して情報が不足していることを非難した。

「道路が崩壊して1週間が経ちますが、GMAの報道を除けば、マスメディアで事故に言及する報道が見つかりません。この地域のBMB(Bukluran ng Mangingisda ng Batangas:バタンガス漁民団結)のメンバーでさえ、迂回路があることは知っていたものの、その原因については知りませんでした。このような事故は、私たちの安全に関わり、また日常生活に影響を及ぼすことなので、バタンガスの住民には知る権利があります。私たちがこの事故を知ったのは、かなり後になってニュースが口づてで伝わってからのことで、私たちはその後、道路の下を掘削したのはまさにAG&P社の事業であり、それが崩落を引き起こしたという証拠を見つけたのです。」とGariguez氏は述べた。

また、環境団体は、公共事業道路省バタンガス第2地区エンジニアリング事務所がこの件に関して沈黙していることを批判した。

「国道が崩落し、周辺住民の生計手段に大きな損害をもたらしたのに、公共事業道路省は何も発言していません。私たちは、政府の機関がLNG事業による災害から目を背け、メディアの言論統制の積極的参加者になっているようであることを懸念しています。フィリピン国民はより良い扱いをされてしかるべきです。」とGariguez氏は語った。